

20171015 「兄弟と再会するヨセフ」

目標：ヨセフと兄弟達の仲直りから、仲直り（和解）のために必要なのは、両者の心からの悔い改めであることを知る。

聖書箇所：創世記42：1－45章15節 時間：10分

暗誦聖句：「あなたがたはわたしに対して悪をたくらんだが、神はそれを良きに変らせて、今日のように多くの民の命を救おうと計らわれました。創世記50章20節」

道具：ホワイトボード、ペン

対象者：中3×1 中1×1 小6×1 小5×3 小3×1 小2×1 小1×2 幼稚園児×2

留意点：当教会の子どもたちは前週が合同礼拝で前回の箇所を扱っていない。導入で前週の箇所のあらすじを押さえ、兄弟との和解に焦点を当てる。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	<p>前回（先々週）のお話を覚えていますか。</p> <p>とても酷いことをしたヨセフでしたが、その後、エジプトでの生活の中でたいへんな苦労を経験します。嘘をつかれて牢屋に何年も入れられ、牢屋を出られるチャンスは駄目になったりしました。しかし、遂に時が来て、何とエジプトの王様の次に偉い大臣にまで出世することになったのです。</p> <p>折しも、世界の至る所で大飢饉が起き、各地から、ヨセフのいるエジプトに、食べ物求めて人々がやってきたのです。</p> <p>その中に、ヨセフの兄たちもいたのです。ヨセフはすぐに気づきましたが、兄たちは当然ながら、ヨセフと気づけません。</p> <p>兄たちに、エジプトの偉い大臣（ヨセフ）は、突然、スパイだと言い始め、牢屋に閉じ込めます。</p> <p>三日後、大臣は、弟を連れてきたら、信じてやると言いました。</p> <p>兄たちは、皆、ヨセフに悪いことをした為、こういう目に遭っているんだと互いに言い合いました。</p> <p>兄たちは、一旦帰りましたが、また食料が足りなくなつたため、エジプトに向かうことになりました。今度は弟を連れて行かなければなりません。</p> <p>彼らは、何とヨセフの家に招かれ大きな食事会に預かったのです。</p> <p>帰る途中、呼び止められて、遂に彼らはヨセフから真実を明かされます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 覚えている 覚えていない 	<p>覚えている子供に、あらすじを話させ、みんなで確認する。</p> <p>前回の箇所（この子どもたちは未習）に該当する箇所のあらすじを押さえる。</p> <p>ここまでの前段で必ず、ヨセフの心情を追い、兄たちに本当に申し訳ないことをしたのだと気づいたことに言及し、板書する。</p> <p>ヨセフの施策については、時間の余裕があったら説明を加える。</p> <p>ここで視点をヨセフから兄の側に変える。</p> <p>何でこういうことをしたのか、理由を考えさせておき、後で解説を加える。彼らの本心をヨセフは知ろうとしたのである。</p> <p>ヨセフがこれを聞いていたことに触れ、ヨセフが、兄たちが悔いているのを知ったことに触れる。</p> <p>返してもらった銀については、時間に余裕があれば触れる。</p> <p>彼らの心情や、席順、銀の杯、ユダの弁明など、触れたことは多いが、兄たちの視点から、何が起きているのか、不安にあったことを強調する事に努める。</p> <p>お互い、申し訳なかったことと、再会出来たこととで、泣きじゃくったことは、私達でも感動する。この感動を子供たちにも感じさせたい。</p> <p>190号のテーマ「神の恵みに生かされる」からの反映。もし時間的に可能なら、神様と私達の関係に置き換えて、悔い改めの大切さに気づかせたい。</p>
課題探究	6分	<p>仲直りは、素晴らしいと思います。でも、確かにお互いがごめんなさいという心でなかったら、いけないと思います。お互い悪いことをしてはいけないです。でもしてしまったら、お互い謝るように努めていくべきですね。</p> <p>暗誦聖句</p>		
まとめ	2分			